



## ☆み～つけた☆

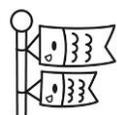
園庭に出るとそれぞれ好きな遊びを楽しむ子ども達。砂場に走り、スコップやカップを手に砂に触れ笑顔を見せる子、砂山にかけ登る子、キッズパレスなど遊具での滑り台を満喫する子と遊びは様々ですが、みんな笑顔いっぱいです。

遊びを楽しむ中で、子ども達はたくさんの春を見つけました。風で飛んできた桜の花びらを拾い、「きれ～い」とバケツに集めたり、たんぽぽを摘んで髪飾りのように髪に着けてもらったり、おままごとのトッピングにしたり春の自然に触れて嬉しそうでした。

また、暖かくなり巣から出てきた「あり」を見つけ興味津々。巣から出入りする様子に釘付けになったり、捕まえて手のひらで歩く「あり」にびっくりして思わず手をブンブン振り回したり、ありの巣をスコップですくおうとする姿もあります。遊びながら見つけたてんとう虫やダンゴ虫にも手を伸ばしたり、バケツに入れて観察を楽しんでいます。

最近では外に出ると遊ぶよりもまず、「み～つけた」と虫や草花に触れ笑顔で保育士に話しかける子ども達です。子どもならではの視点だからこそ見つける春に私たちもほっこり温かくなります。子ども達の「み～つけた」を大切に共感し、様々な発見が学びや経験に繋がっていくように関わっていきたいと思います。

新年度が始まり、1ヶ月が過ぎました。少しずつ新しい環境にも慣れ、笑顔もたくさん見られるようになった子ども達。園庭に出ると、元気な声が響き、思い切り好きな遊びを楽しんでいます。虫や花などの自然にも興味をもって触れ、笑顔いっぱいです。いろいろな事を経験しながら、子ども達が楽しさを存分に味わえるような保育をしていきたいと思っています。



## 2歳児の葛藤



2歳児は『反抗期』『魔の2歳児』などと言われることもあり「自分で」や「いやいや」が多く見られるようになったり、甘えて何もやらなくなってしまう事もあると思います。しかし、決して反抗しているのではなく、まだ言葉だけで思いを伝えるのは難しいので、自分の思いを伝えようとする精一杯の表現なのです。子ども達自身にも思いがあり、それを一生懸命伝えようとする言葉、行動であり、自己主張をするようになってきた成長の証です。子どもの思いに共感し、「こうしたかったんだね」と大人が言葉で代弁してあげる事により、自分の思いを受け止めてもらえたと子ども達も安心して自分の思いを伝えてくれるようになります。一人ひとり体力や体格、情緒面などすべてにおいて個人差がありますので、その子のペースに合わせてゆっくり関わっていくようにしていきたいと思っています。

子育ての悩み、保育についてなど気になる事がありましたら、遠慮なく声をかけて下さい。ご家庭と共に子ども達の成長を見守っていきたいと思います。

